



●みななのこうりゅうかんならはきゃんばす

## みんなの交流館ならはCANvas

●町に暮らす人が自由な発想で利用する施設

●被災後、全町避難を余儀なくされた檜葉町。東京電力福島第一原発から半径20km圏内が警戒区域に指定されましたが、平成27年(2015)9月ようやく檜葉町の避難指示が解除されました。

平成30年(2018)にオープンしたこの施設は、檜葉町に関わる人々が何度も話し合い、検討を重ね「こころの復興」を目指して造られた交流の場。被災した家屋の柱を館内に使用し、復興の歩みをまとめたパネル展示を行うなど、震災伝承施設としても運営されています。

同館は、町の中心部に位置する笑ひるタウンならは内にあります。北・西・南面はガラス扉で開閉できるようになっています。屋内外を一体にできるオープンスペースとしてイベントなどにも利用できます。料理教室や趣味のサークルなどさまざまなことに挑戦でき、地域の人々が交流し支え合う、心の拠りどころとなっています。

施設は2階建てで、趣味のサークル活動などに利用できるよう、21時まで開館している。晴れた夕方には2階から檜葉町の夕日を見ることがも。町民以外でも入館できるので立ち寄ってみよう



自由に使える「みんなのリビング」。くつろいだり、待ち合わせをしたり、町民が気軽に立ち寄れるようになっている。仕切りがあるので、それぞれ独立した利用も可能。椅子に座れるテーブル席もある



館内の一部には津波で流された柱などを使用。震災当時や避難中、避難指示解除後の暮らしの変化などを聞くことができる語り部も行っている(所要60分、7500円※1カ月前までに要予約)

## ●ならはまち 檜葉町

檜葉町の被害状況

- 最大震度 6強
- 浸水面積 3km<sup>2</sup>
- 最大浸水深 10.5m注①

全壊 147棟  
半壊 1,218棟  
一部損壊 289棟

注②  
死者 26人  
行方不明者  
負傷者 2人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

## 展示 交流拠点

施設ガイド  
※要予約

語り部あり  
※要予約

車椅子OK

## 施設DATA

●みんなのこうりゅうかんならはきゃんばす

## みんなの交流館ならはCANvas

☎ 0240-25-5670 MAP P116F3

④ 檜葉町北田中満260

⑤ 常磐自動車道広野ICから車で10分

⑥ 9~21時

⑦ 第2・4火曜

⑧ 無料(共用スペースの占有利用は有料)

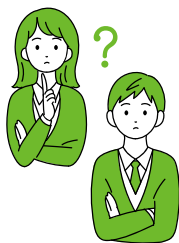
⑨ あり(大型バス:あり)

<https://naraha-canvas.com>



## 考えてみよう

Q1 この施設は全9回のお茶飲みワークショップを経てオープンしました。施設の名前にはどのような意味が込められているのでしょうか?



A1 施設の可能性や使う人の「CAN=できる」をかなえる場所にしたい。真っ白なキャンバスに、それぞれの「できる」を描ける施設を目指して「CANvas」と名付けられた。

注① 出典: 檜葉町災害記録誌第1編、平成26年12月、檜葉町